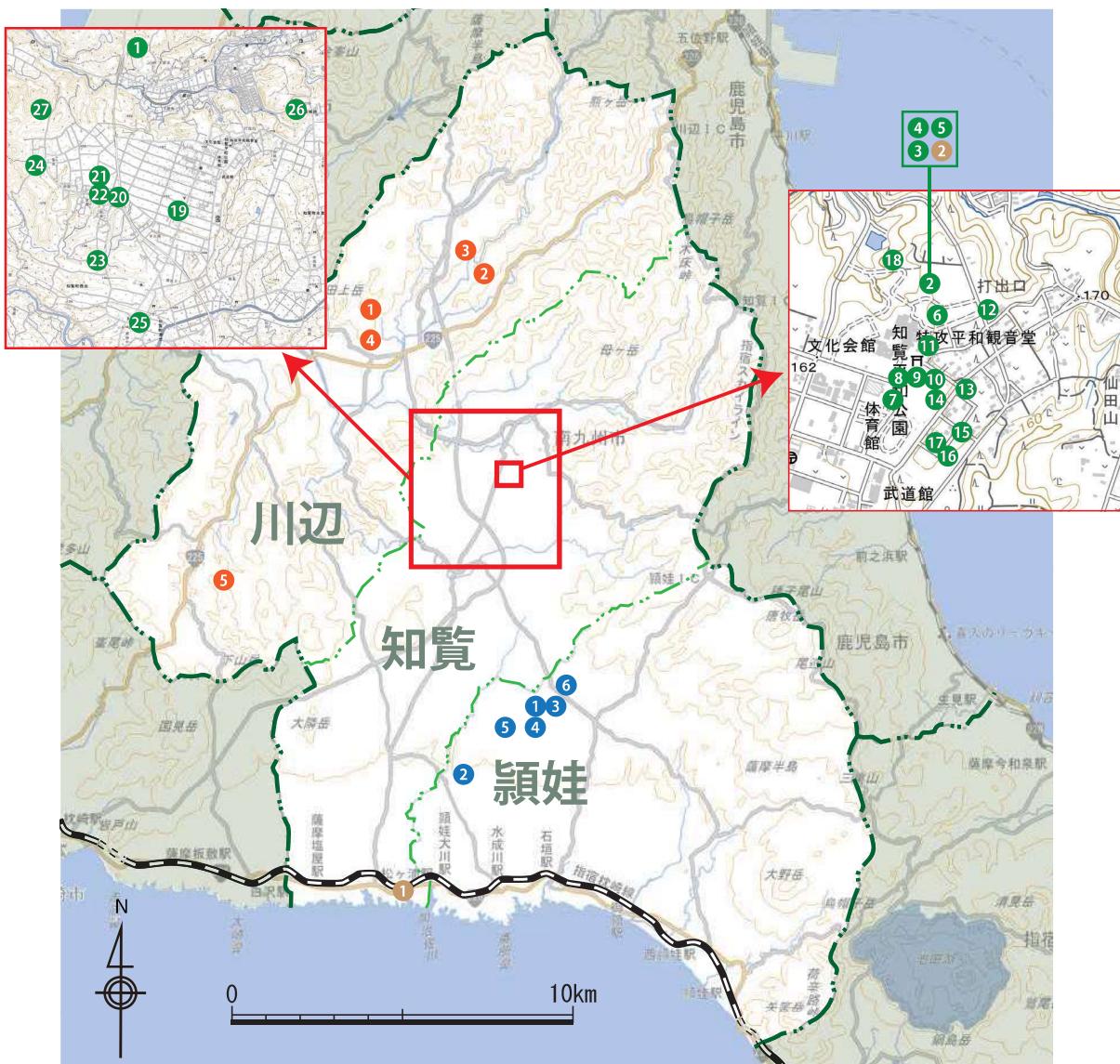


表7－7 「太平洋戦争と南九州」を構成する文化財群

地域	地域資源名	時代	分類	指定等
知覧飛行場	知覧飛行場跡	近代	記念物	-
	知覧特攻平和会館	現代	その他	-
	特攻隊員の遺書	近代	有形	市指定
	なでしこ隊「特攻日記」	近代	有形	市指定
	陸軍四式戦闘機「疾風」	近代	有形	市指定
	三角兵舎（復元）	近代	その他	-
	一式戦闘機「隼」	現代	有形（建造物）	-
	特攻勇士の像	近代	その他	-
	鳥濱トメの灯ろう	近代	その他	-
	飛行場の門柱（移設）	近代	有形	-
	知覧特攻平和観音堂	近代	その他	-
	灯ろう	近代	その他	-
	知覧飛行場油脂庫	近代	有形	市指定
	弾薬庫	近代	国指定	国指定
	知覧飛行場正門	近代	有形（建造物）	-
	給水塔	近代	有形（建造物）	-
	防火水槽	近代	国指定	国指定
	着陸訓練施設	近代	国指定	国指定
	出発線の碑	近代	その他	-
	戦闘指揮所跡	近代	記念物	-
	なでしこ隊見送りの地	近代	その他	-
	対空無線通信施設	近代	記念物	-
	三角兵舎跡	近代	市指定	市指定
	掩体壕	近代	有形（建造物）	-
青戸飛行場	集団司令部跡	近代	記念物	-
	大刀洗陸軍航空廠知覧分廠跡	近代	記念物	-
	山砲座跡（猿山）	近代	記念物	-
	穎娃	青戸飛行場跡	近代	記念物
	穎娃	佐世保海軍通信隊穎娃分遣隊地下壕跡	近代	有形（建造物）
	穎娃	トーチカ跡1	近代	有形（建造物）
護	トーチカ跡2	近代	有形（建造物）	-
	穎娃	貯水槽跡	近代	有形（建造物）
	穎娃	掩体壕	近代	有形（建造物）
	川辺	護南師団司令部跡	近代	有形（建造物）
	川辺	食糧庫	近代	有形（建造物）
	川辺	弾薬庫	近代	有形（建造物）
	川辺	防空壕	近代	有形（建造物）
	川辺	高射砲陣地	近代	有形（建造物）
	知覧	震洋艇基地跡	近代	有形（建造物）
	知覧	震洋艇	近代	有形（美工）





● 知覧飛行場

- 1 知覧飛行場跡
- 2 知覧特攻平和会館
- 3 特攻隊員の遺書
- 4 なでしこ隊「特攻日記」
- 5 陸軍四式戦闘機「疾風」
- 6 三角兵舎（復元）
- 7 一式戦闘機「隼」
- 8 特攻勇士の像
- 9 鳥濱トメの灯ろう
- 10 飛行場の門柱（移設）
- 11 知覧特攻平和観音堂
- 12 灯ろう
- 13 知覧飛行場油脂庫
- 14 弾薬庫
- 15 知覧飛行場正門
- 16 給水塔
- 17 防火水槽
- 18 着陸訓練施設
- 19 出発線の碑
- 20 戰闘指揮所跡
- 21 なでしこ隊見送りの地
- 22 対空無線通信施設
- 23 三角兵舎跡
- 24 掩体壕
- 25 集団司令部跡
- 26 太刀洗陸軍航空廠知覧分廠跡
- 27 山砲座跡（猿山）

● 護南師団

- 1 護南師団司令部跡
- 2 食糧庫
- 3 弹薬庫
- 4 防空壕
- 5 高射砲陣地

● 震洋艇

- 1 震洋艇基地跡
- 2 震洋艇

● 青戸飛行場

- 1 青戸飛行場跡
- 2 佐世保海軍通信隊頴娃分遣隊地下壕跡
- 3 トーチカ跡 1
- 4 トーチカ跡 2
- 5 貯水槽跡
- 6 掩体壕

図7-7 関連文化財群「太平洋戦争と南九州」(国土地理院地図に加筆)



7－3－5. 関連文化財群⑤「日々の暮らしと路傍の神々」

南九州市では、自然環境・社会環境に根ざした様々な生業が行われてきました。

桜島・鬼界カルデラ・池田湖カルデラ・開聞岳の活発な火山活動は、この土地に独特的な地形や地質を形成してきました。人々は、これらを克服し、また共生する事で、様々な産業を生み出してきました。さらに、水運に恵まれた交易の活発な土地もあり、海運商人によって、様々な文化がもたらされました。

このような自然環境・社会環境と生業との関係は、信仰にもつながっています。

農畜産業

南九州市には緑豊かな田畠が一面に広がっていますが、火山噴出の厚い地質・地形のため、先人たちは農地の開拓に苦労してきました。江戸時代に作られた用水路やため池は、改修しながら現在も利用されています。

豊作を願って建立された田の神像や水神は、江戸時代から現在まで建立が続いています。新田開発の記念に建立されたものも多く、当時の人々の願いを現在に伝えるものです。

農耕に使用された牛馬は貴重な労働力として家族同様の扱いを受けていました。健康や無事故を祈り、あるいは供養のために馬頭観音や早馬神が建立されました。現在は牛・豚・鶏の畜産業も盛んです。また、これらの農畜産物を活かした郷土料理が伝えられるとともに、新たな名物料理の開発も行われています。

南九州市の基幹産業は農業で、特にお茶は「知覧茶」の銘柄で広く知られています。平成29（2017）年に、南九州市のお茶は「知覧茶」に銘柄を統一し、様々な品種・環境で育てられたお茶を楽しむ事ができます。近年は、粉末状やカップにお湯を注ぐだけで飲める商品や、鯉節とあわせた「茶節」等の新しい楽しみ方も増えています。緑の茶畠は、南九州市のシンボルであり、また市の観光資源として、行政・民間団体が活用に取り組んでいます。その中でも知覧の「茶ばっけん岡」は、マスコミ等で取り上げられ知名度が向上しています。旧3町ごとに茶業発祥地や、大地に広がる茶畠の景観を楽しめる展望スポットが各地にあり、多くの来訪者があります。

サツマイモも主要産業の一つで、生食用の他に、焼酎やデンプンの加工用の品種も広く栽培されています。市内の焼酎の酒造メーカーの商品には知名度の高い銘柄が多くあります。デンプンから作られた水飴を「アメンドロ」と呼びますが、春先にはヨモギ餅にアメンドロをからませて食べられています。

近年、生産量が減っていた「川辺メロン」は若手生産者の就農やその味の再評価により人気が復活しつつあり、「道の駅 川辺やすらぎの郷」の人気商品となっています。

川辺地域では、近世から鶏卵の飼育が盛んで、大坂へ出荷していました。海のない川辺では、



写真5－11 御領の田の神



写真5－12 宝福寺跡のチャノキ



新鮮な海産物が手に入らなかったため、ニワトリの刺身である「鳥刺し」や「川辺鶏飯」等の鶏肉料理が発達しました。南九州市内には、鶏肉専門の精肉店がある他、「道の駅 川辺やすらぎの郷」レストラン等の飲食店で味わう事ができます。

川辺地域の「清水篠井手用水隧道部」(市指定史跡) や頴娃地域の赤崎用水路隧道等、溶結凝灰岩の岩盤やシラス台地を掘削して建設された近世の用水路が現在も使われています。水力のみを利用して、川の水を両側の用水路へ流す「高田タービン揚水機」は、昭和初期の大渴水の後に整備されたもので、同様のものは国内にあわせて2つしか残っていません。また、「厚地のため池群」も水の確保に苦労した先人の思いを伝える地域資源です。

頴娃地域では、イセエビの養殖が盛んで、初秋にはイセエビの即売会が開催される他、飲食店でも提供されています。頴娃の海岸線ではキス釣り大会や地引網等の体験が可能で、知覧の海岸線には、サバ等の青魚を使用した「ゲンダ」等の郷土料理があります。

また、九州南部の特産品の一つである漬物の原料として、収穫された大根を寒風にさらすため、竹で組んだやぐらにかける頴娃・知覧地域の「大根やぐら」も南薩台地の冬の風物詩として親しまれています。

祭礼と無形民俗文化財

本市には江戸時代から続く祭礼がある一方、昭和から平成にかけて新たに生まれたイベントや祭りがあります。「川辺二日市」、豊玉姫神社の「六月灯」、飯倉神社の「御田植祭り」、「十五夜ソラヨイ」、竹屋神社の「豊祭」等は、季節の変化と人々の生業と密接に結びついたものです。これらの行事や祭礼では、地域で伝承されている無形民俗文化財が奉納・披露されます。

旧薩摩藩領独特の夏祭りである「六月灯」は、神社や寺院だけでなく、公民館や自治会単位でも開催されています。知覧地域の豊玉姫神社の「六月灯」では、国選択無形民俗文化財・県指定有形民俗文化財の「知覧水車からくり」や、市指定無形民俗文化財「豊玉姫神社神舞」が披露され、市内外から多くの人が訪れます。川辺地域の「平山稻荷神社」で毎年7月7日に開催される「六月灯」は、多くの出店が並び、地域住民による演芸披露等が行われており、夏を告げる風物詩として親しまれています。

7月第1日曜日の飯倉神社の御田植祭りは、「飯倉神社の御田植祭りに伴う芸能」として市の無形民俗文化財に指定されており、「宮棒踊り」「田の神舞」が奉納されます。田の神の依り代のエノキの前での神事、御神田での作り牛の代掻きや早乙女の田植え等が行われ、写真愛好家を中心に多くの観客が訪れています。

7月最終日曜日に川辺商店街で開催される「川辺祇園祭」は、大正時代に八坂神社から勧進してきた祝いの行列を起源とし、少しづつ形態を変えながら100年以上続いています。



写真7-13 豊玉姫神社神舞



写真7-14 飯倉神社の御田植祭に伴う芸能



10月19日の竹屋神社の豊祭では、旧山田郷（旧勝目村）に伝承されている県指定無形民俗文化財「上山田太鼓踊り」、市指定無形民俗文化財「中山田太鼓踊り」「下山田西豊年太鼓踊り」「下山田東区太鼓踊り」の4つの太鼓踊りを輪番で奉納し、川辺地域南部の旧勝目村地域の約30箇所の自治会で踊りを披露します。

永田に伝わる「永田日送り踊り」は、遭難し中国に漂着した人々が現地で覚えた踊りを永田の人々が習ったと伝わる踊りで、笛と拍子木にあわせお面を付けた人々が面白おかしく踊ります。奉納・披露は不定期ですが、鹿児島県本土で仮面をつけて集団で踊る芸能は珍しい事から、イベント等で披露する際には多くのカメラマンが訪れます。

未指定の無形民俗文化財として、「オランダ踊り」「塗木ヤンセ踊り」「田部田棒踊り」「野崎棒踊り」「青戸棒踊り」「雪丸棒踊り」「古殿太鼓踊り」「平山太鼓通り」「高田太鼓踊り」「馬渡馬方踊り」「谷場剣舞」等があります。

また、「知覧ねぷた祭」や「頴娃ごっそい祭」、「かわなべ磨崖仏まつり」等の新しいイベントは、市内外の人々の交流、地域の特産品のアピールの場となっています。



写真7－15 上山田太鼓踊り

鉱工業

江戸時代、薩摩藩の各郷には郷名と代表的な職業を結び付けた呼び名がありました。「知覧大工」と呼ばれた優れた技術を持つ集団があり、現在もその伝統は受け継がれています。火山の恵みの一つとして、金や銀の鉱山があります。本市には現在も稼働している赤石鉱山をはじめ、多くの鉱山があり、それにまつわる道具や伝承が残っています。

溶結性凝灰岩を利用した石切り場（採石場）跡や、切り出した石材を用いた石造物が数多く残っています。

交通・港

現在の主要道路の多くは、江戸時代の街道が基になっています。またJR指宿枕崎線は海岸線を走っています。本市独特の景観である茶畠や田、スギ・ヒノキの美林、開聞岳等の山岳、火山堆積物由来の独特的な海岸線等を楽しみながら移動することができます。現在は漁港として利用されている頴娃・知覧の港周辺には、近世から続く浦町の面影を残した街並みや、海運商人に関する建造物、琉球から入ってきた魔よけの石造物である石敢當等が残っていて、国内外に雄飛した先人たちの面影を感じることができます。

また、開聞岳と砂浜の指宿市との境に近い「瀬平公園」、地引網の楽しめる「前原海岸」、古代から続く「石垣」、タツノオトシゴハウスや県指定名勝・天然記念物に重複指定された「番所鼻公園の環状プール群」、かつて「四浦」と呼ばれた知覧の「門之浦」「松ヶ浦」等の港湾も地域資源として活用を図ります。



写真7－16 前田馬場の石敢當



表7-8 「日々の暮らしと路傍の神々」を構成する文化財群

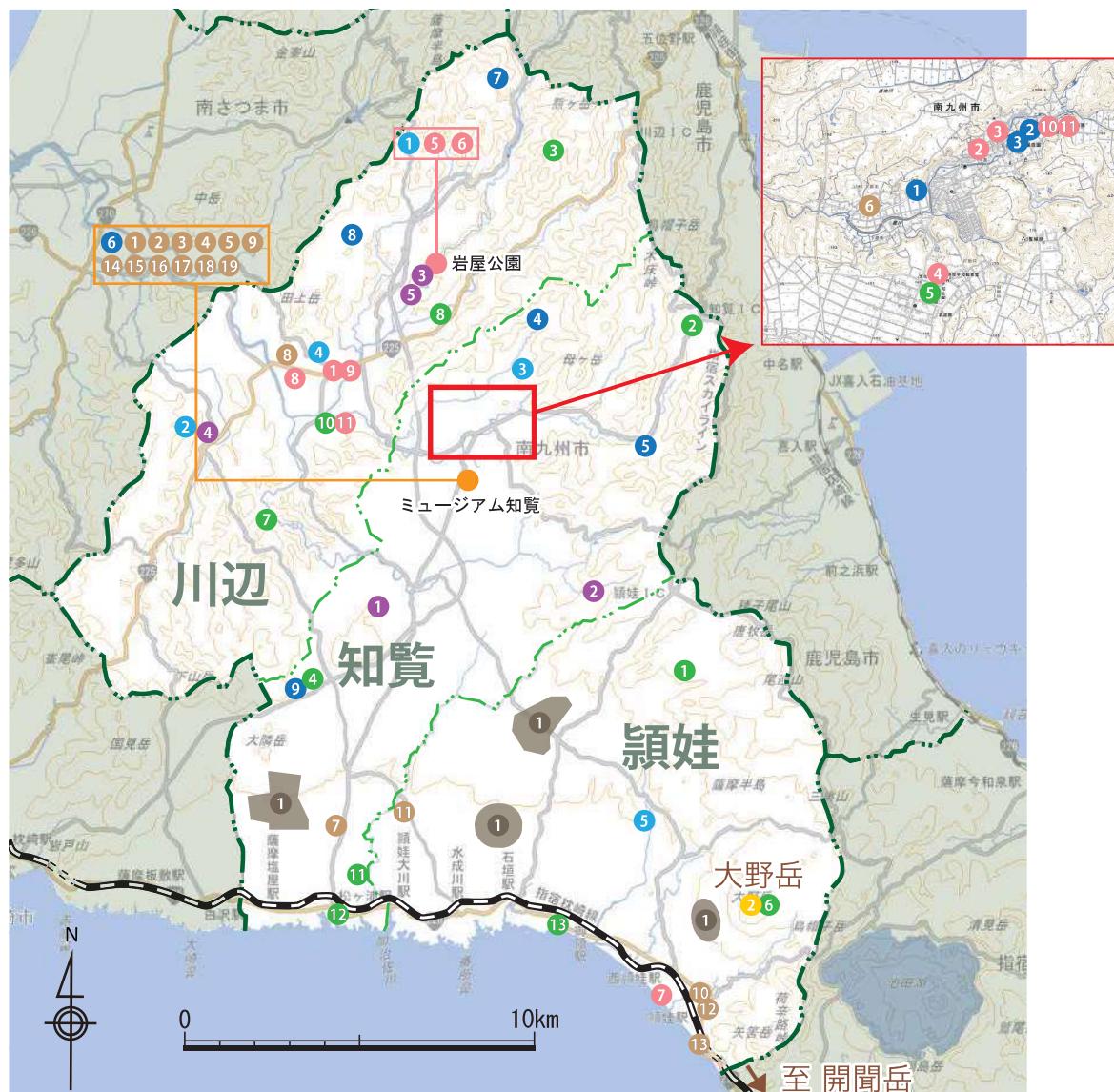
	地域	地域資源名	時代	分類	指定等
鉱・手工業	知覧	知覧大工	近世～	-	-
	知覧	水車からくり	近世～	県指定	県指定
	知覧	知覧傘提灯	近世	-	-
	知覧	知覧型二ツ家民家	近世	市指定	市指定
	知覧	厚地松山製鉄遺跡	近世	県指定	県指定
	知覧	池之河内製鉄遺跡	近世	-	-
	川辺	亀甲氏の氏神	近世	市指定	市指定
	川辺	瀬戸山製鉄遺跡	近世	-	-
	川辺	田代金山跡	近世	-	-
祭礼・イベント等	知覧	赤石鉱山	現代	-	-
	川辺	川辺二日市	-	民俗	-
	知覧	知覧二日市	-	民俗	-
	川辺	川辺祇園祭り	-	民俗	-
	知覧	知覧ねぶた祭	-	その他	-
	知覧	知覧小京都まつり	-	その他	-
	川辺	かわなべ磨崖仏まつり	-	その他	-
	川辺	川辺農業祭	-	その他	-
	頴娃	頴娃ゴッソイ祭	-	その他	-
	川辺	田んぼアート	-	その他	-
	知覧	知覧灯彩路	-	その他	-
	全域	風鈴の小径	-	その他	-
ため池・用水路	川辺	篠井手用水隧道部	近世	記念物	市指定
	川辺	塘之池公園	近世	記念物	-
	知覧	厚地のため池群	-	記念物	-
	川辺	光明寺池	-	記念物	-
	頴娃	赤崎用水隧道	-	-	-
念仏洞	知覧	かくれがま	近世	記念物	市指定
	知覧	かくれがま（ヌスット穴）	近世	記念物	市指定
	川辺	清水桜元の隠れ念仏洞	近世	記念物	市指定
	川辺	中山田の隠れ念仏洞	近世	記念物	市指定
	川辺	野間の隠れ念仏	近世	記念物	-
郷土料理	全域	鶏刺し	-	民俗	-
	頴娃・知覧	アメンドロ	-	民俗	-
	知覧	トイノズシ	-	民俗	-
	川辺	川辺鶏飯	-	民俗	-
	全域	カカラニ団子	-	民俗	-
	全域	どろずし	-	民俗	-
	全域	ふくれがし	-	民俗	-
	頴娃	頴娃茶発祥の地	-	記念物	-
	知覧	知覧茶発祥の地	-	記念物	-
	川辺	宝福寺跡のチャノキ	-	記念物	-
茶業・農業・産業	知覧	高塚岡茶団地（茶ばっけん岡）	-	その他	-
	知覧	ジャンボ急須	-	その他	-
	頴娃	頴娃茶顕彰碑	-	記念物	-
	川辺	高田石切り場	-	記念物	-
	川辺	野崎石切り場	-	記念物	-
	全域	田園風景	-	その他	-
	川辺	飯倉神社の御神田	-	その他	-
	知覧	中渡瀬骨粉水車	近世	記念物	市指定
	知覧	ヘヤッガマ	近世	記念物	市指定
	頴娃	矢越浜	近世	その他	-



表7-9 「日々の暮らしと路傍の神々」を構成する文化財群

地域	地域資源名	時代	分類	指定等
歴史資料	頬娃 竈蓋大明神社棟札	-	有形（美工）	市指定
	知覧 御佛像(御本尊・御絵像)	-	民俗	市指定
	知覧 御佛像(御本尊・御絵像)	-	民俗	市指定
	知覧 秘仏の柱	-	民俗	市指定
	知覧 細布講	-	民俗	市指定
	知覧 城ヶ崎の板碑	中世	民俗	市指定
	知覧 菊永の板碑	中世	民俗	市指定
	川辺 田部田羽祢田の板碑	中世	民俗	市指定
	知覧 的場家隠れ念佛資料	近世	民俗	市指定
	頬娃 永正の板碑	中世	民俗	市指定
	頬娃 耳原六地蔵塔	中世	民俗	市指定
	頬娃 鮫島因幡守宝篋印塔	中世	民俗	市指定
	頬娃 瀬平の觀音像一体と洞窟	近世	民俗	市指定
	知覧 御佛像(御影像)	近世	民俗	市指定
	知覧 御佛像(御影像)	近世	民俗	市指定
	知覧 御佛像(御影像)	近世	民俗	市指定
	頬娃 嫢祖の画像	近世	民俗	市指定
	川辺 川辺焼花瓶	近代	有形（美工）	市指定
	川辺 大鋸（おが）	中世	民俗	市指定
その他	頬娃・知覧 大根やぐら	-	その他	
	全域 サツマイモ畑	-	その他	-
	市外 開聞岳	-	その他	-
	頬娃 大野岳	-	その他	-
景観	全域 鬼火焚き	-	民俗	-
	頬娃 青戸棒踊り	近世	民俗	-
	頬娃 雪丸棒踊り	近世	民俗	-
	頬娃 馬方踊り	-	民俗	-
	頬娃 谷場剣舞	-	民俗	-
	知覧 上別府太鼓踊り	近世	民俗	市指定
	知覧 横峯棒踊り	近世	民俗	-
	知覧 中福良棒踊り	近世	民俗	-
	知覧 菊永錦踊り	近世	民俗	-
	知覧 南薩摩の十五夜行事	-	民俗	国指定
	知覧 塗木ヤンセ踊り	-	民俗	-
	知覧 取違オランダ踊り	近代	民俗	-
	知覧 知覧水車からくり	近世	民俗	国選択
	知覧 豊玉姫神社神舞	近世	民俗	市指定
	川辺 田の神舞	近世	民俗	市指定
	川辺 宮棒踊り	近世	民俗	市指定
	川辺 野崎棒踊り	近世	民俗	-
	川辺 田部田棒踊り	近世	民俗	-
	川辺 古殿太鼓踊り	近世	民俗	-
	川辺 平山太鼓踊り	近世	民俗	-
	川辺 高田太鼓踊り	近世	民俗	-
	川辺 下山田東区太鼓踊り	近世	民俗	市指定
	川辺 下山田西豊年太鼓踊り	近世	民俗	市指定
	川辺 中山口太鼓踊り	近世	民俗	市指定
	川辺 上山田太鼓踊り	近世	民俗	県指定
	川辺 永田日送踊り	近世	民俗	市指定





● 鉱・手工業

- 1 水車からくり
- 2 知覧傘提灯(川口茶舗内)
- 3 知覧型二ツ家民家
- 4 厚地松山製鉄遺跡
- 5 池之河内製鉄遺跡
- 6 亀甲氏の氏神
- 7 瀬戸山製鉄遺跡
- 8 田代金山跡
- 9 赤石鉱山
- 10 知覧大工

● 祭礼・イベント等

- 1 川辺二日市
- 2 知覧二日市
- 3 知覧ねぶた祭
- 4 知覧小京都まつり
- 5 かわなべ磨崖仏まつり
- 6 川辺農業祭
- 7 頬娃ゴッソイ祭
- 8 田んぼアート
- 9 川辺祇園祭り
- 10 知覧灯彩路
- 11 風鈴の小径

● 茶業・農業・産業

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 頬娃茶発祥の地 | 8 野崎石切り場 |
| 2 知覧茶発祥の地 | 9 田園風景(全域) |
| 3 宝福寺跡のチャノキ | 10 飯倉神社の御神田 |
| 4 高塚岡茶園地(茶ばっけん岡) | 11 中渡瀬骨粉水車 |
| 5 ジャンボ急須 | 12 ヘヤッガマ |
| 6 頬娃茶顧彰碑 | 13 矢越浜 |
| 7 高田石切り場 | |

● ため池・用水路

- 1 篠井手用水隧道部
- 2 塙之池公園
- 3 厚地のため池群
- 4 光明寺池
- 5 赤崎用水隧道

● 念仏洞

- 1 かくれがま
- 2 かくれがま(ヌスット穴)
- 3 清水桜元の隠れ念仏洞
- 4 中山田の隠れ念仏洞
- 5 野間の隠れ念仏

● 地土料理

- 1 鶏刺し(全域)
- 2 アメンドロ(頬娃・知覧)
- 3 トイノズシ(知覧)
- 4 川辺鶏飯(川辺)

- 5 カカラニ団子(全域)
- 6 どろずし(全域)
- 7 ふくれがし(全域)

● 歴史資料・絵画・陶磁器

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 竜蓋大明神社棟札 | 11 耳原六地蔵塔 |
| 2 御佛像(御本尊・御絵像) | 12 鮫島因幡守宝篋印塔 |
| 3 御佛像(御本尊・御絵像) | 13 濱平の觀音像一体と洞窟 |
| 4 秘仏の柱 | 14 御佛像(御影像) |
| 5 細布講 | 15 御佛像(御影像) |
| 6 城ヶ崎の板碑 | 16 御佛像(御影像) |
| 7 菊永の板碑 | 17 媚祖の画像 |
| 8 田部田羽祢田の板碑 | 18 川辺焼花瓶 |
| 9 的場家隠れ念仏資料 | 19 大鋸(おが) |
| 10 永正の板碑 | |
- (頬娃歴史民俗資料館 閉業)

● その他

- 1 大根やぐら
- 2 サツマイモ畑

● 景観

- 1 開聞岳
- 2 大野岳

図7-8 関連文化財群「日々の暮らしと路傍の神々」(国土地理院地図に加筆)



7-4. 関連文化財群ごとのアクションプラン

(1) 関連文化財群①「山城から麓へ～島津氏を支えた南薩の群雄～」

課題

- ・城館跡に関する周知が進んでいない
- ・各城館跡の詳細な調査が実施されていない
- ・個人所有物件の維持管理
- ・ボランティアガイドの育成が急務である
- ・保存活用のための検討委員会が未設置

方針

活用を図るための前段階として、各種調査を実施しその成果を市民と共有し、来訪者が快適に過ごす環境整備に努め、個人所有物件の維持管理の負担を軽減します。

表7-12 関連文化財群「山城から麓へ～島津氏を支えた南薩の群雄～」に関するアクションプラン

番号	事業名とその内容	財源					主体				市担当課	事業期間		
		国費	県費	市費	助成金等	民間資金	市	専門家	所有者	個人団体		前	中	後
1-2	市内城館分布調査 市内に所在する城館跡の現状把握のため、文献調査・発掘調査等を実施し、報告書・パンフレット等を刊行する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課		→	
1-15	ミュージアム知覧企画展 中世から近世の武士に関する館収蔵品を中心とした企画展を開催する。	—	—	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課		→	
1-22	ボランティアガイドの育成 知覧城・伝建地区等の理解を深め、市内外からの来訪者へ説明できるボランティアガイドを育成する。	○	○	◎	○	—	◎	○	○	○	商工観光課、文化財課		→	
2-7	知覧型二ツ家・旧高城家住宅茅葺屋根維持管理 伝建地区内の茅葺屋根を維持するため、日常的に管理・修理等を実施する。	○	○	◎	○	—	◎	○	○	○	文化財課		→	
2-17	国指定史跡「知覧城跡」整備 保存活用計画を策定し、登城道の整備、トイレ設置、矢印案内板の設置等を検討・実施する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課		→	
2-18	国選定「南九州市知覧重要伝統的建造物群保存地区」整備事業 伝建地区を維持するため、国・県の指導を受けながら、個人所有物件の整備事業を実施する。	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	文化財課、都市政策課		→	
2-19	重要伝統的建造物群保存地区の環境整備 補助事業で整備を進めつつ、保存活用計画・防災計画の策定を目指す。	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	文化財課、都市政策課、防災安全課		→	



表7－13 関連文化財群「山城から麓へ～島津氏を支えた南薩の群雄～」に関するアクションプラン

番号	事業名とその内容	財源					主体			市担当課	事業期間		
		国費	県費	市費	助成金等	民間資金	市	専門家	所有者		前	中	後
2 — 20	国選定「南九州市知覧重要伝統的建造物群保存地区」整備事業 (直接事業) 伝建地区を維持するため、国県の指導を受けながら、市所有物件の整備事業を実施する。	○	○	○	○	—	◎	○	—	—	文化財課、商工観光課		→
2 — 22	県指定史跡「頬娃城跡」の保存・整備 専門家の指導を受け調査を実施し、保存活用のための検討委員会を設置する。	○	○	○	○	—	◎	○	—	○	文化財課		→
3 — 2	地域資源を活かした観光コースの確立 関連文化財群を中心とした観光コースを設定する。	○	○	○	○	—	◎	○	—	◎	商工観光課、文化財課		→

(2) 関連文化財群②「南薩の寺社～受け継がれた人々の祈り～」

課題

- ・寺跡等の遺跡や石造物に関する調査が進んでいない
- ・市民への周知が進んでいない
- ・少子高齢化により無形の民俗文化財の伝承団体の活動が厳しい状況にある

方針

文献調査・埋蔵文化財発掘調査等の各種調査を実施し、その成果を広く周知します。また無形の民俗文化財の伝承のため、披露の場を提供するとともに、様々な面から活動を補助します。

なお、この課題・方針は、関連文化財群⑤「日々の暮らしと路傍の神々」とも共通するものです。



表7－14 関連文化財群「南薩の寺社～受け継がれた人々の祈り～」に関するアクションプラン

番号	事業名とその内容	財源					主体				市担当課	事業期間		
		国費	県費	市費	助成金等	民間資金	市	専門家	所有者	個人団体		前	中	後
1 — 4	市内石造物把握調査 市内に所在する石造物の情報整理・調査を実施し、報告書・パンフレット等を刊行する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課		→	
1 — 5	市内寺院跡把握調査 寺院跡について文献調査・現地調査等を実施し、報告書・パンフレット等を刊行する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課		→	
1 — 6	神社建築把握調査 各神社の社殿の既存情報を整理し、平面図等を作成する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課	→		
1 — 13	ミュージアム知覧企画展 信仰に関する館蔵品を中心とした企画展を開催する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課		→	
1 — 22	ボランティアガイドの育成 指定文化財を含む地域資源の理解を深め、市内外からの来訪者へ説明できるボランティアガイドを育成する。	○	○	◎	○	—	◎	○	○	○	商工観光課、文化財課		→	
2 — 12	知覧水車からくりの保存・継承 後世に伝えるため、保存会の活動を支援する。	—	—	◎	○	○	○	—	○	◎	文化財課		→	
2 — 13	無形民俗文化財の活動支援 市内で伝承されている無形民俗文化財の伝承活動を支援する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文化財課		→	
2 — 15	無形民俗文化財披露機会の確保 市内で伝承されている無形民俗文化財が披露できる機会を確保する。	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	文化財課、社会教育課		→	
2 — 21	県指定史跡「清水磨崖仏」の保存・整備 専門家の指導を受け調査を実施し、保存活用のための検討委員会を設置する。	○	○	○	○	—	◎	○	—	○	文化財課		→	



(3) 関連文化財群③「海運商人と舶来品」

課題

- ・伝來した舶来品等を観覧する機会が少ない
- ・地域資源を活用した観光ルートの確立が進んでいない。
- ・浦町や建造物の説明ができるボランティアガイドが少ない

方針

博物館の企画展等を通じて市内外へ魅力を発信し、官民が協力して観光ルートを確立し、まち歩き等を通じたボランティアガイドの育成に努めます。

表7－15 関連文化財群「海運商人と舶来品」に関するアクションプラン

番号	事業名とその内容	財源					主体			市担当課	事業期間		
		国費	県費	市費	助成金等	民間資金	市	専門家	所有者		前	中	後
1 — 15	ミュージアム知覧企画展 交易や海運商人に関する館収蔵品を中心とした企画展を開催する。	—	—	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課	→	
1 — 22	ボランティアガイドの育成 浦町の理解を深め、市内外からの来訪者へ説明できるボランティアガイドを育成する。	○	○	◎	○	—	◎	○	○	○	商工観光課、文化財課	→	
3 — 6	魅力ある観光資源の発掘と活用 指定等文化財をはじめとする地域資源を観光資源とするためにプラッシュアップを図り、観光客誘致につなげる。	○	○	○	○	—	◎	○	○	◎	商工観光課	→	
3 — 20	河川・海岸・水産業に親しむイベントの開催 水産資源と直結する水環境について学び親しむ機会を提供する。	○	○	◎	○	○	○	○	○	—	◎	商工観光課	→

(4) 関連文化財群④「太平洋戦争と南九州」

課題

- ・知覧特攻平和会館来館者を飛行場関連施設へ誘導するコースが周知されていない
- ・観光客数に対してボランティアガイドが少ない

方針

知覧特攻平和会館収蔵品の調査研究と飛行場関連施設の保存整備を進めるとともに、スピーチコンテストや新たなボランティアガイドを育成し、市内外へ広く魅力を伝えるための事業を実施します。



表7-16 関連文化財群「太平洋戦争と南九州」に関するアクションプラン

番号	事業名とその内容	財源					主体			市担当課	事業期間		
		国費	県費	市費	助成金等	民間資金	市	専門家	所有者		前	中	後
1 — 11	指定文化財パンフレット・リーフレットの発行及び改訂 戦跡に関するパンフレット・リーフレット等を発行し、必要に応じて改訂する。	—	—	○	○	—	◎	○	○	○	知覧特攻平和会館	→	
1 — 16	知覧特攻平和会館企画展 中世から近世の武士に関する館収蔵品を中心とした企画展を開催する。	—	—	○	○	—	◎	○	○	○	知覧特攻平和会館	→	
1 — 20	『知覧特攻平和会館紀要』の刊行 職員・学芸員及び研究者等による研究成果をまとめた紀要を刊行する。	—	—	◎	—	—	◎	○	○	○	知覧特攻平和会館	→	
1 — 22	ボランティアガイドの育成 市内に所在する戦跡の理解を深め、市内外からの来訪者へ説明できるボランティアガイドを育成する。	○	○	◎	○	—	◎	○	○	○	商工観光課	→	
2 — 8	収蔵品の詳細調査及びレプリカの作成 各館の収蔵品の詳細調査を実施し、後世に伝えるためのレプリカを作成する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	知覧特攻平和会館	→	
2 — 16	戦績の看板等設置 地域で親しまれている未指定文化財・地域資源の説明板・案内板を、わかりやすいデザインで設置する。	—	—	○	○	—	◎	—	○	○	知覧特攻平和会館	→	
3 — 17	平和スピーチコンテストの開催 開催を継続し、平和の町をPRする。	—	—	◎	○	—	◎	○	—	—	知覧特攻平和会館	→	

(5) 関連文化財群⑤「日々の暮らしと路傍の神々」

課題

- ・少子高齢化により無形の民俗文化財の伝承団体の活動が厳しい状況にある
- ・本市の自然環境・産業の魅力を知る機会が少ない

方針

先人たちの生活や祈りを伝える有形・無形の民俗文化財を次世代へ伝えるための調査研究を実施してその価値を共有し、保存・活用につなげます。

また市民・来訪者が恵まれた自然環境とそれによって育まれた各種産業に触れ合う機会を設けます。

表7－17 関連文化財群「日々の暮らしと路傍の神々」に関するアクションプラン

番号	事業名とその内容	財源					主体			市担当課	事業期間		
		国費	県費	市費	助成金等	民間資金	市	専門家	所有者		前	中	後
1 — 3	無形民俗文化財把握調査 市内に伝承されている無形民俗文化財の現状把握のための聞き取り調査、映像記録を実施し、報告書を刊行する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課	→	
1 — 4	市内石造物把握調査 市内に所在する石造物の情報整理・調査を実施し、報告書・パンフレット等を刊行する。	○	○	○	○	—	◎	○	○	○	文化財課	→	
1 — 24	自然環境に関する学習機会の提供 森林・農地・海岸・河川等の自然環境や動植物を学ぶ機会を提供する。	○	○	◎	○	—	◎	○	○	○	耕地林務課、市民生活課、文化財課	→	
2 — 12	知覧水車からくりの保存・継承 後世に伝えるため、保存会の活動を支援する。	—	—	◎	○	○	○	—	○	◎	文化財課	→	
2 — 13	無形民俗文化財の活動支援 市内で伝承されている無形民俗文化財の伝承活動を支援する。	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	文化財課	→	
2 — 14	川辺仮壇振興事業 国の伝統的工芸品「川辺仮壇」の販路拡大、後継者育成のための事業を実施する。	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	商工観光課	→	
2 — 15	無形民俗文化財披露機会の確保 市内で伝承されている無形民俗文化財が披露できる機会を確保する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文化財課、社会教育課	→	
3 — 2	地域資源を活かした観光コースの確立 関連文化財群を中心とした観光コースを設定する。	○	○	○	○	—	○	○	—	◎	商工観光課、文化財課	→	
3 — 3	グリーン・ツーリズムの推進 市内の地域資源を把握し、グリーン・ツーリズム協議会と情報共有し、体験活動を設定する。	○	○	○	○	—	◎	—	—	◎	商工観光課、文化財課	→	



表7－18 関連文化財群「日々の暮らしと路傍の神々」に関するアクションプラン

番号	事業名とその内容	財源					主体			市担当課	事業期間		
		国費	県費	市費	助成金等	民間資金	市	専門家	所有者		前	中	後
3 — 7	日本一のお茶を活用した観光産業の創出 各地域の茶業発祥地や茶畑の景観を巡るバスツアーや、茶摘みの体験等を実施する。	○	○	○	○	—	◎	○	—	◎	茶業課、商工観光課	→	
3 — 12	南九州市の特産品・名物活用の推進 市、特産品協会、観光協会で推進事業を実施する。	○	○	○	○	—	◎	—	—	◎	商工観光課	→	
3 — 13	知覧茶のブランド力強化 市内外でのPRの場を設定するとともに、SNS等を利用した情報発信を推進する。	○	○	◎	○	—	○	—	—	◎	茶業課、商工観光課	→	
3 — 14	農産品のブランド化・高付加価値化 農産品や加工品をブランド化し、SNS等の情報発信を通じて市内外にその魅力をPRする。	○	○	◎	○	—	○	—	—	◎	耕地林務課	→	
3 — 20	河川・海岸・水産業に親しむイベントの開催 水産資源と直結する水環境について学び親しむ機会を提供する。	○	○	◎	○	○	○	○	—	◎	商工観光課	→	
3 — 21	山林・林業に親しむイベントの開催 豊富な森林資源を活用し、市民・観光客を対象としたイベントを開催し、興味・関心の向上に努める。	○	○	◎	○	○	○	○	—	◎	耕地林務課	→	